



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 *Rotary: Making a Difference*

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝 澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年1月26日 第2322回例会 VOL. 49 No. 27 旭・瀬谷2クラブ合同例会 (三ツ境ライフコミュニティーサロン)

- 司 会 益田 裕隆 (瀬谷 SAA)
- 開会点鐘 依田紀久子 (瀬谷会長)
- 斉 唱 君が代・奉仕の理想
- 出席報告

会員数	32名	本日の出席数	22名
本日の出席率	81.48%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

安藤 (公)、福村、二宮 (麻)、目黒、宋

■ビジター

河原 裕典様、舟橋金之介様 (横浜緑 RC)

■ゲスト

中野 卓弥先生、臼井 牧子先生
(IAC、横浜隼人中学・高等学校)

■会長報告 依田紀久子 (瀬谷会長)

皆さんこんにちは、本日の横浜旭、横浜瀬谷クラブの合同例会を大変楽しみにしておりました。これだけ人数が多いのが憧れでした。こちらの場所は外の眺めもよく、昔クラブの例会場として利用しておりまして、懐かしく思いました。



月曜日の大雪にはちょっとびっくりしました。テレビでも紹介されましたが、私の家の

前の坂道で、相鉄バスが電柱にぶつかりまして、NHKに私の娘が近所の住民として出ておりました。3日間はバスはそのままの状態、相鉄さんは近隣の何も説明も来られなかったので、危機管理上問題ではないかと思いました。

昨日は第5グループの会長幹事会が行われましたのでご報告いたします。

1) 2月10日のマラソン大会が行われますが、参加希望者は25日締切でしたので、正確な人数は集計中とのことでした。また、皆様方のご寄付ありがとうございますとの事です。

2) 3月3日のIMに、皆様多数のご参加お願いします。一層の会員増強をお願いしますとのことです。

3) 昨日の会には、湯川ガバナーもお見えになり、宮城県の岩沼の千年希望の丘に植樹の下見にいらした内容をお話いただきました。

4) ライラの申込が今日まででございます。まだ申込はございませんが、私は参加して参りたいと思います。会員の方で、参加ご希望の方は事務局までお申し出ください。

5) 先日お話ししました、第5・7グループ合同し、第5グループが11クラブにすることを、2～3年後に行いたいとの話をガバナーから伺いました。

6) 1月28日にローターアクト年次大会が行われます。参加ご希望の方は私までお申し出ください。

■会長報告 滝澤 亮(旭会長)

皆様新年明けましておめでとうございます。今更何を間抜けな事を言っていると思われる方もいらっしゃると思いますが、私事です、新年の1月10日の例会の日は、急に呼吸困難を起こしまして、救急車で病院に搬送され、先日退院し、私にとりまして本日が平成30年最初の例会となります。



本日の合同例会が無事に行われることに感謝申し上げ、次年度も引き続き行われるよう努力して参りたいと思います。

■幹事報告 田川 富男(旭幹事)

皆さんのテーブルに今度旭クラブが開催する「ガンセミナー」の案内のチラシを置いてあります。当クラブのガンセミナーは2回目となります。第1回目が好評を得たことから、2回目を企画しました。3月24日(土)午後1時より開催します。ご興味のある方、是非ご出席をお願いします。

■入会記念新会員へ記念品贈呈

2017-18年度新会員へ贈られる記念品が届き、横浜瀬谷RC 依田紀久子会長より、橋爪博会員へ贈呈されました。

○橋爪会員挨拶

横浜瀬谷RC 橋爪と申します。自分の中のテーマでは、地域貢献の意識を高く持って積極的に参加していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



■ペットボトル協力感謝状

日頃、横浜瀬谷RCで行われている『ペットボトルキャップ回収』にご協力いただいた方々への『感謝状』が、依田会長より代理者、稲葉允会員へ贈られました。

■IMキャラバン隊のご挨拶

河原 裕典様、舟橋金之介様(横浜緑RC)

皆様こんにちは。横浜緑RCから参りました河原と舟橋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



また例会の貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。今日お伺いしたのは、IMを我が緑で開催することになり準備を進めてまいりました。

開催日は3月3日(土)です。場所は横浜市緑区長津田、区民文化センターみどりアートパークです。駅から2分くらいで着くと思います。講演は姜尚中さんをお願いしており、テーマは『現代の貧困』主に子供たちの未来について、お話いただきます。第2部はコント、落語など用意していますので楽しんでいただけたと思います。是非、皆様ご参加をお願いいたします。

■ロータリー勉強会 露木 雄二(瀬谷)

私達のクラブは2014年7月から、毎回新会員を対象にした勉強会を毎月第4の例会前30分行っております。

今日は私の担当でして、ロータリーの歴史、最初は親睦から生まれ、今でこそ奉仕団体となっておりますが、元々は4人が寂しかった事から始まったのがロータリークラブです。ロータリーという名称は、その4人の事務所を順番に回っていったことから付けられました。現在のロータリーは122万人、クラブ数35,700余となっており、200の国と地域、この地域というのは曲者でして、国にはなっていない所、例えば紛争地域なども含まれます。国連よりも多人数になっております。それからロータリーの組織の仕組み、そしてロータリークラブのモットー、「入りて学び、出て奉仕」ロータリーは勉強の場であるという事。それから5大奉仕となった経緯。ロータリーの標語「もっとも多く奉仕する者、もっとも多く報われる。」最後の四つのテストについて話をしました。

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

(報告者) 森本 潔 (瀬谷)

河原裕典会員・舟橋金之介会員／3月に行います、IMについて連絡とお願いに伺いました。よろしくお願いいたします。

滝澤 亮会長／横浜緑 RC 河原様、舟橋様、IM のキャラバンご苦労さまです。

依田紀久子会長／本日は旭ロータリークラブとの合同例会、とても楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。IM キャラバンの皆様ようこそお越しくださいました。

■インターアクト委員会について

中野 卓弥 白井 牧子
(横浜隼人中学高等学校教諭)



皆さんこんにちは、本日は横浜隼人高校の中野と白井がお邪魔させていただきます。本校のインターアクトクラブについては、昨年からいろいろお話しをさせていただいて、何とか昨年の11月から動き出すことが出来ました。本当にありがとうございます。

また、旭 RC の方では、一昨年岩沼に訪問させて頂いた際に、本校の軽音楽部と生徒会の生徒もいろいろとお世話になり、その後も情報交換をさせて頂いております。今後とも先輩であります、横浜富士見ヶ丘中高等学校の方々といっしょに何かいろいろな事が出来ればいいなと期待しております。まずは私共の顔を覚えて頂き、皆さんといっしょに行事等お手伝いさせて頂いたり、新しく出来た私共の IAC に是非足を運んでいただき、私達の活動等いっしょにした形で、瀬谷の地域を盛り上げさせていただければと考えております。

本日皆様のお手元に横浜国際フォーラムのチラシを配らせていただいております。中面に本校の IAC の活動の発表を企画しておりま

す。これからも分かりますように、私共隼人高校は以前より被災地支援と交流を行っております。特に瀬谷区社会福祉協会の皆さんといっしょに瀬谷ボランティアバスに継続的に参加しており、これまで累計で168名、生徒達は参加して、いろんな思いを横浜に持ち帰っているという状況です。

横浜国際フォーラム自体は2010年から始まりまして、本校はずっと参加してセミナーを開いております。震災以降はここにありますように被災地の問題をいろいろな点から被災地の皆さんといっしょに考えようとセミナーを開いております。もちろん本日ご参加の皆さんもご参加いただけるセミナーですので、2月4日ご参加いただければと思っております。もうすでに我々の先輩である18のインターアクトの方々に、このお知らせをお送りしてあります。つい先ごろ台湾と一緒に研修に行かせていただきました三上、会長になります生徒ですが、台湾にコネクションを作りまして、あちらの生徒も来ると言っておりますので、是非ご参加していただいて交流を深めていただければと思います。

私は元々国際語科という所に所属しております、開発途上国の問題を生徒とともに考えることを15年位やってきました。合わせましてもう一つの柱として、地域と繋がることは大事であると思っておりますので、瀬谷、泉、鶴見、保土ヶ谷社協等18ある横浜市内の社会福祉協議会との繋がり、主に障害児の学習支援活動について十数年やっております。

何しろ自分の問題意識はインターアクトそのものと思っております。自分が考えていることをそのまま生かせるこの場合は、私にとって非常に有意義な場所であると思っております。また、皆さんの職業経験の豊富さとか、社会経験の豊富さに、今度はこういう形で繋がりましたので、ロータリーの方々と本校の生徒と繋がりがもてるように、いろんな事をやっていきたいと思っております。

例えば瀬谷区社協といろいろ新しい事をやりながら、またお手伝いをやりながら繋がりを持たせていただいております。我々がやっ

ている活動以外でも、本校では和太鼓部であったり、ソーラン隊とか、本当に地域の皆様にお世話になっている学校です。そういった意味では、本校の中だけでなく、地域の皆さんの為になるような、お互いがWIN、WINで行くような活動ができることが大事だなと思っております。

この地域と国際という2つのことは、私の個人的柱でもあり、インターアクトの活動の柱でもあるので、これからも進めて行こうと思っておりますが、今一番関心のあるのは、昨年からはじめましたいわき市との繋がりであります。そのいわき市とも繋がりは元はと言えば、瀬谷フェスティバルで本校の生徒が地域の物産を扱っているボランティアをずっとやっております、その中から繋がってきたものでございます。そうやって、外に出ればいろんな人と繋がれるというのが、私の活動方針でもありますし、それがそのままインターアクトの活動の大元のなっているのではないかと考えております。

私自身もインターアクトをつくるにあたり、いろいろと伺っていくなかで、やっている事自体は他のIAC活動や、ロータリークラブのお考えとそれほど大差ないのではないかと思うところです。

もう少し横浜国際フォーラムについてお話しをさせていただくと、これは元々震災以前はこういう被災地云々というのは枠組みとしてなかったものでした。何しろ場所はJICA横浜という国際協力機構の横浜支部といった場所でやっているもので、開発途上国の問題を扱うNGO、NPO等外郭団体や国際機関のセミナーを皆で見に行こうという会です。本校でも震災以前は異文化理解といって、本校のネイティブ教諭と一緒に連れて行って、国ごとのギャップを考えようといったセミナーを当初やっていたのですが、その後被災地と繋がりを得て、震災以降ずっとこの問題を取り上げております。

先ほどかがったIMの姜尚中さんの講演のテーマであります「貧困」の話、格差とか貧困とかは私も非常に関心のあるテーマです。

よく言われるのが、学校ですから、観念的な授業になってしまうこともあります。例えば「カンボジアの人々は大変だよ」という勉強をして、そういう捉え方もあるのですが、では「日本にはないのか」という話になります。例えば阿久和団地には多くの外国の方が住んでいらっしゃいます。団地は高齢化と外国化が進んでおります。特にベトナムの方が多いのですが、そちらにこれまで3～4年、学習支援活動として、本校は行っております。そのことから、これは世界の問題ではなく日本の問題だよという事になります。

私は釜石市にここ何年も行っておりますが、感じるのは都心部と地方のギャップと申しますか、格差と申しますか、文化的なアクセスだったり、経済的なものであったり、全て言えるのですが、これらは、開発途上国とともに日本の問題であるといえると思います。そういった意味で今子ども達に知って貰いたいのは、遠い話ではなくて、自分の身の回りを考える、あるいは、外国の問題を考えたとき、戻って日本の問題を考える、このやりとりとか動き、思考そのものが大事ではないかということなのです。

ですから、自分の問題関心から、世界に向けた開発途上国の問題を考えてきたのですが、やはり自分の活動の中心である被災地の支援とか、その繋がりとといった問題は、実は同じ問題なんだと私は今感じております。そんななかで生まれたのが、フォーラムのテーマ「被災地とつながる、高校生とつながろう」被災地と繋がっている我々と皆で繋がってくださいというような会として、行おうと思っております。そういう気持ちのある本校の生徒と皆さんとの繋がりを持たせていただければと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■閉会点鐘

滝澤 亮(旭会長)

■次回の卓話

2/14(水) 職業卓話 太田 幸治会員

週報担当 吉原 則光